

## 移転新築された富岡消防署の運用開始

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

東京電力福島第1原発事故で庁舎が使えなくなった福島県富岡町の富岡消防署が町内に移転新築され、7月2日（月）、運用開始式がありました。富岡消防署の新庁舎はポンプ車など車両8台を備え、同町と全町避難が続く大熊町を基本的にカバーしています。原子力災害に備え、線量計など関連資機材の倉庫を建物内に設けました。

双葉郡8町村でつくる双葉地方広域市町村圏組合消防本部は、浪江消防署の新庁舎が4月に仮運用を始め、同署葛尾出張所の新庁舎も4月に運用を開始したことで、2署1分署2出張所の機能がほぼ回復しました。通信指令室がある本部は楡葉町の仮庁舎での業務が続きます。



## 事態対処医療についての多機関合同研修会を開催

泉州南消防組合泉州南広域消防本部

泉州南広域消防本部では、泉州地域メディカルコントロール協議会参画消防を含む7消防機関と警察機関及び海上保安庁等、多機関合同の研修会を開催しました。

研修では、管内の救命救急センター医師による事態対処医療に係る講義やターニケットの実習が行われました。

来年度6月に大阪で開催予定のG20など国際的なイベントを控え、関西国際空港を擁する地域事情からもテロ等への対応力向上が求められますが、今回のような多機関合同研修により連携強化を図る等、万全の準備を整えていきます。



# 消防通信 望楼 ぼうろう

## 「平成30年度西宮市家庭防火クラブ大会」の実施

西宮市消防局

西宮市消防局では、平成30年7月13日（金）に「平成30年度西宮市家庭防火クラブ大会」を開催しました。この大会は、市内の家庭防火クラブ員が一同に集い、クラブ員の団結を図り、更なる防火・防災意識の高揚を図るために開催しています。

記念講演では、一般社団法人リスクウォッチ代表 長谷川祐子氏をお招きし、火災時、自分の身を守る方法や、家庭内でのク립材やバールを用いた救助方法等について、実技指導も交えながら講演いただき、参加したクラブ員120名にとって大変有意義な大会となりました。



## 地質と災害の関係を考える研修会を実施

串本町消防本部

7月24日（金）、串本町消防本部は、串本町サンゴ台の防災センターで防災研修を実施しました。南紀熊野ジオパークガイドの芝崎浩子さんを講師に招き、消防署員31人が防災の視点からジオパーク（地質遺産）について学びました。

序盤はジオパークの概念、中盤以降は紀伊半島の地質の成り立ちや管内の地質環境などを通して、予想される災害の内容を考える機会を得ました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】